


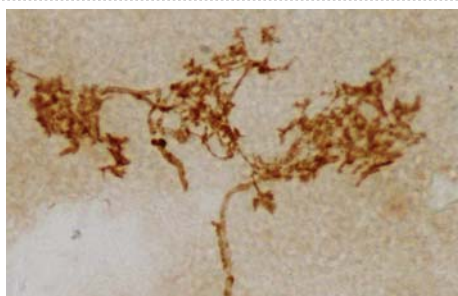
農学部研究シーズ2014

所属・職・氏名	共同獣医学科・教授・山本 欣郎	
紹介する研究シーズ名	喉頭の感覚受容器	
キーワード	呼吸調節、刺激受容	

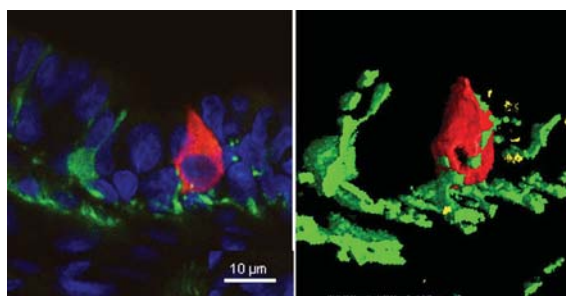
シーズの「売り」は！！

気管の入り口にある呼吸調節装置

- ① 喉頭は下部気道の入り口にある声帯を備える臓器で、呼吸調節にも役立っています。
- ② 呼吸気道には多くの感覚受容器があり、呼吸時に体内に進入する種々の刺激を受け呼吸の調節を行なっています。
- ③ 我々は喉頭に存在する感覚受容器の構造や受容機構に関して明らかにし、呼吸への影響を明らかにしてきました。これらの基礎的知見は、呼吸調節機能を生理学的に説明することをはじめ、薬理的な解析にも発展させることを検討しています。
- ④ 経気道薬や麻酔薬などの呼吸反射への影響を模索し、QOL への貢献を模索します。



写真① 喉頭粘膜の機械受容器



写真② 喉頭粘膜の化学受容器

【研究シーズの応用例・活用分野・展望】

製薬、呼吸生理、QOL

関連特許・関連資料等

Soda Y., Yamamoto Y. (2012) Morphology and chemical characteristics of subepithelial lamellar nerve endings in the rat epiglottic mucosa. *Histochem Cell Biol.* 38, 25-39